

令和2年度第2回三木市創生計画策定検証委員会の概要

日 時：令和3年2月8日（月）
午前10時～午前11時15分
会 場：三木市役所 大会議室

第2期三木市創生計画 人口ビジョン・総合戦略（以下、「第2期創生計画」という。）の改定及び進捗状況について、第2回三木市創生計画策定検証委員会（以下、「創生委員会」という。）を開催し、委員から意見をいただいた。
創生委員会における主な内容は、次のとおり。

説明事項

- ・資料1 【追加に係る協議事項】防災のまちづくりについて
- ・資料2 第2期三木市創生計画 第2版（案）
- ・資料3 第2期三木市創生計画 新規事業の進捗について

概要

三木創生を推進するため、2060年の人口5万人をめざし、第2期創生計画の改定、事業の取組状況について、自由な意見交換を行った。

主な意見

■ 防災のまちづくりについて

- ・第2期創生計画に、「防災のまちづくり」に係る記載をすることには、異論は無い。
- ・防災とともに、カーボンニュートラルなど環境への配慮に係る内容については、国の方針に沿っている。
- ・国土強靱化計画の策定において、行政内でのBCP※対策に加え、企業サポートにも取り組むことを考えてみてはどうか。

※Business Continuity Plan（事業継続化計画）の略で、災害時等における円滑な事業継続・迅速な復旧を目的とした計画のこと。

- ・県の広域防災センターや国の研究機関であるEーディフェンスにおいて、既に取り組んでいる防災への啓発活動や見学会といった内容を記載してはどうか。
- ・コロナにより、今年度は実施できていないところも多いが、各自治会では防

災訓練に取り組んでいる。また、市民一人一人が家庭等において取り組むことも重要である。

- ・ 県や国の施設を誘致しても、市民にとって使い勝手が悪いのであれば意味がない。どのようにして三木市民のために生かしていくのかが重要である。

■ ゴルフのまちについて

- ・ 春高・春中ゴルフの誘致が成功し、実施に向けて進む中で、そういったゴルフイベントを、どのように産業振興へと展開していくのかという部分に時間軸のズレがあると感じる。市外からゴルフイベントのために訪れた方たちに、市内事業者がどのようにおもてなしをするのかというところで、経済効果につながる事業を促進してほしい。
- ・ シーズンオフの安い時期に、ファミリーゴルフを推進する施策を実施してみてはどうか。
- ・ ゴルフを含めた観光全体に力を入れてほしい。シャッター街になっている商店街などに新たなお店の誘致などを行い、三木合戦にちなんだ名物を作る等により、もっと観光客が増えるのではないか。

■ 創生計画について（その他）

- ・ 国や県では、デジタル化を推し進めているので、第2期創生計画改定版にも記載していただきたい。
- ・ スマートICの整備については、国、県及び事業者と連携し、計画どおり遂行してほしい。
- ・ ひょうご情報公園都市の整備については、働くところが増えることで、人口増加も期待できるので、ぜひ力を入れて推進してほしい。

■ その他

- ・ 「チームエキスポ2025」という取組がある。これは、2名以上の団体でSDGsなどエキスポの精神に則った活動を行えば、その活動をPRできる取組である。こういった国の取組を利用して三木市をPRしてみてもどうか。
- ・ 民間と連携できる人材の育成について、他市では、30歳前後の市職員を年単位で東京の民間企業に派遣しているというケースもある。民間の考えに触れるこういった取組により、官民連携が促進できるのではないか。
- ・ 国では、REASASを活用したまちづくりの支援を行っている。地域住民や高校生などによる、客観的なデータを活用したまちづくりの提案について、経済産業省では、講師等の派遣や政策コンテストを実施している。ぜひ活用してほしい。

- ・廃校の利活用について、地元では、廃校となった施設が長期間放置されれば、犯罪の温床になるのではないかと危惧している。廃校後もしっかり管理していただきたい。